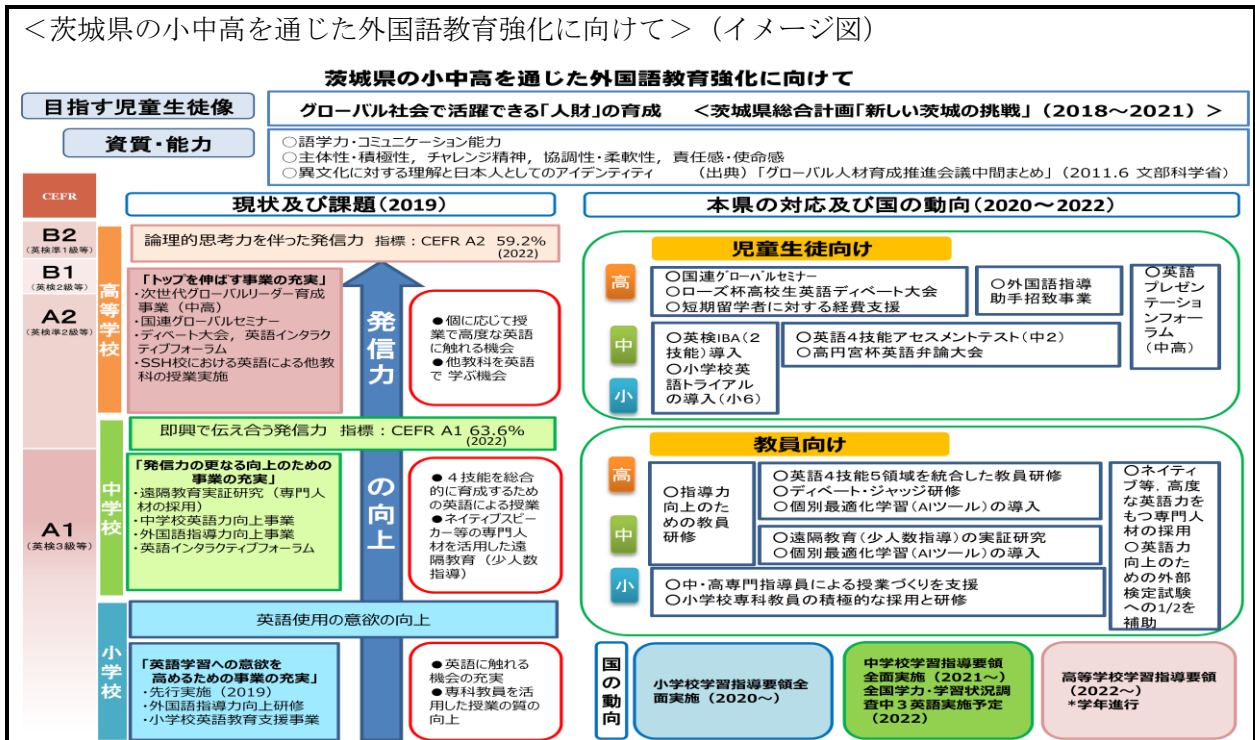


茨城県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要

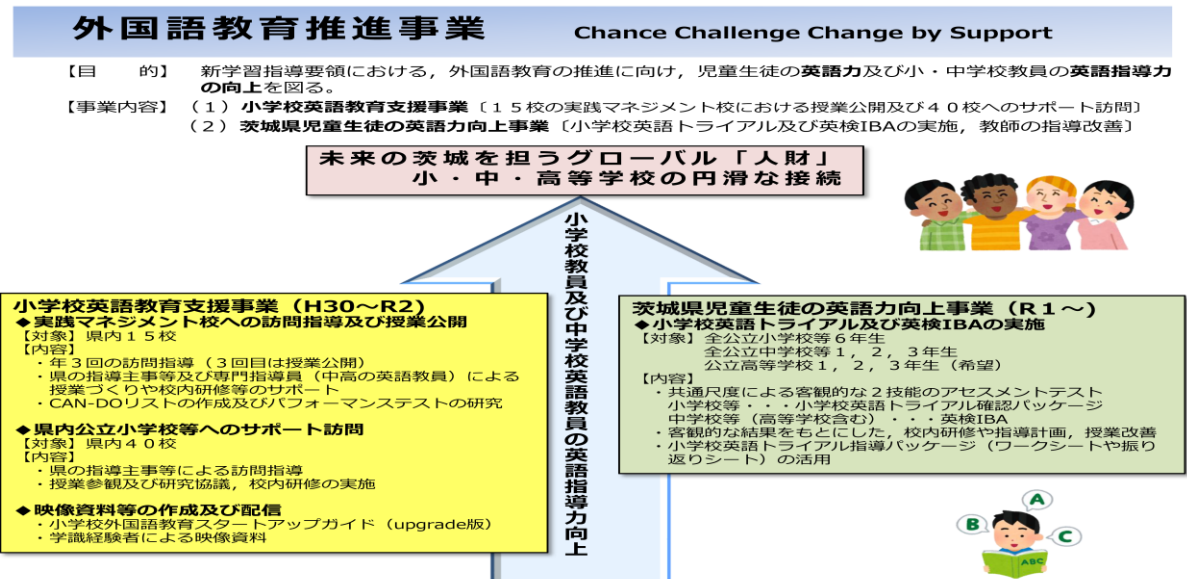
<茨城県の小中高を通じた外国語教育強化に向けて> (イメージ図)



- ・ 県及び市町村教育委員会外国語教育担当者間の共通理解の場の設定
 県指導主事等研究協議会 (年3回), 市町村教育委員会外国語教育担当者研修会 (年2回)
- ・ 児童生徒の英語発信力向上に向けた小中及び中高接続事業の再構築
- ・ 教員研修センターを中心とした指導力向上に向けた研修体制の再構築

<外国語教育推進事業> (イメージ図)

○外国語教育の推進に向けた児童生徒の英語力及び小・中学校教員の英語指導力の向上



- ・ 実践マネジメント校へ、中高教員の専門指導員 (各15名) と県指導主事によるチーム支援訪問 (年3回)
 ※専門指導員は、小学校外国語教育を意識した各校種の授業改善に取り組むとともに、地域のリーダーとして活躍できるための研修の機会
- ・ 小中接続事業として持続可能な取組 (中学校授業改善に向けた事業に再構築予定)

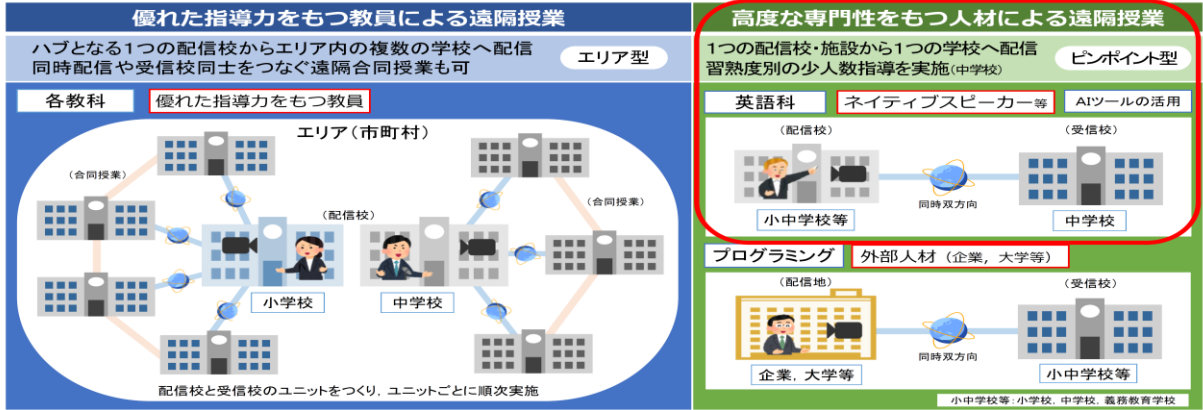
<小中学校における遠隔教育実証研究事業> (イメージ図)

○高度な専門性や優れた指導力をもつ人材による遠隔授業を通じた質の高い英語教育 (中学校)

小中学校における遠隔教育実証研究事業【新規】

教育庁学校教育部義務教育課

高度な専門性や優れた指導力をもつ人材を活用した遠隔授業を実施することで、質の高い教育を実現し、児童生徒の学力向上を図る



- **授業公開 (10~12月) 推進イメージの構築**
 - ・市町村教育委員会の担当者、参観を希望する県内の教員
 - ・各会場30人程度
- **プロジェクト会議 (5, 8, 1月)**
 - ・遠隔システムの構築、授業づくり、検証 等
 - ・プロジェクトチーム(助言者、実証研究校、市町村、県)



- ・ 専門人材を活用した中学校2年生による遠隔事業 (R1~)
- ・ 専門人材 (小学校専科教員) による中学校1年生への遠隔授業 (R2~)

<外国語指導助手招致事業> (イメージ図)

○ALT との実践的なコミュニケーションにより、英語で思考・議論できる「グローバル人材」の育成 (高等学校)

外国語指導助手招致事業

教育庁学校教育部高校教育課指導 G (029-301-5262)

県立高校等に外国語指導助手 (ALT) を増員し、ネイティブと実践的な会話ができる機会を増やすことで、グローバル人材の育成を図ります。

- 1 ALTの重点配置**
県立高校等のALTを増員 (40人→53人) し、中高一貫教育校等に重点的に配置
⇒新たな活用方法による効果を実証
- 2 活用方法**
 - (1) ディベートを活用した授業による実践的な英語力の向上
 - (2) マンツーマン、少人数での英会話レッスン
 - (3) 専門性をもつALTによる英語以外の教科・課題研究の授業
 - (4) クラスの副担任として学校行事等での交流 等



ALT との実践的なコミュニケーションにより、英語で思考・議論できる「グローバル人材」を育成

(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

本県の目標設定・管理（中・高等学校）2017～2022

(1) 生徒の英語力の指標

CEFR A2 以上相当の英語力をもつ生徒の割合（％）

	2018	2019	2020	2021	2022
高等学校	36.2	41.1	49.6	54.4	59.2

CEFR A1 以上相当の英語力をもつ生徒の割合（％）

	2018	2019	2020	2021	2022
中学校	48.6	54.0	57.2	60.4	63.6

(2) 教員の英語力の指標

CEFR B2 取得率の割合（％）

	2018	2019	2020	2021	2022
高等学校	62.0	73.2	75.0	75.0	75.0
中学校	55.0	57.0	60.0	60.0	60.0

(3) 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合（％）

	2018	2019	2020	2021	2022
中学校	90	95	100	100	100

(4) ALT の資質の向上

ALT 活用に関するアンケートにおける「ALT とコミュニケーションを図ろうとする生徒の意欲が高まったと思う」と答えた学校の割合（％）

	2018	2019	2020	2021	2022
高等学校	100	100	100	100	100

(5) 英語教育に関する小中連携の実施状況の割合（％）

	2018	2019	2020	2021	2022
中学校	85	90	95	100	100

2 目標値を達成するための手立て

(1) 求められる英語力を有する生徒の割合の増加

- ・授業改善を目的とした研修体制の構築
- ・共通尺度としての客観性のある英語力（英検 IBA）調査の実施

(2) 求められる英語力を有する英語担当教員の割合の増加

- ・英語力の向上を目的とした教員研修の充実
- ・外部検定試験の積極的な受験への支援（取得した場合には2分の1を補助）

(3) 学習到達目標の「公表」と「達成状況の把握」の改善

- ・県の学校教育指導方針において、努力事項の具現化のための取組として、「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標の設定及び活用を明記

(4) 授業において教員が英語を使用する割合の増加

- ・県の学校教育指導方針において、努力事項の具現化のための取組として、生徒の言語活動を中心とした授業づくり、小学校外国語教育との接続を意識した Small Talk 等の継続的な取組の充実
- ・英語指導力の向上を目的とした教員研修の充実

(5) 専門人材の採用と活用

- ・よい質の高い英語の授業を提供するためのネイティブ教員等の採用と配置
- ・採用予定者への特別免許状の授与

【採用】令和2年度採用茨城県公立学校教員選考試験[2期募集]の実施

＜義務教育課＞ネイティブ（元 ALT）3名，英語力を有する日本人2名

＜高校教育課＞ネイティブ（元 JET-ALT）4名

【小中】小中学校における遠隔教育実証研究事業実証研究校（県内5地区，小中学校10校）

へ、ネイティブ英語教諭等の専科教員として配置

【高校】ネイティブ英語教諭やALTの複数配置

(6) 教員養成大学へ英語科及び小学校教員養成課程での英語力CEFR B2取得に向けた依頼

(3) 研修の体系と内容の具体

【小学校】

1 外国語教育推進事業（H26～）

(1) 小学校英語教育支援事業（H30～R2）

〔目的〕 小学校外国語教育の教科化への円滑な実施に向けた指導力の向上

〔対象〕 県内公立小学校の実践マネジメント校 15校及びサポート訪問 40校

〔内容〕 ・実践マネジメント校へ指導主事及び専門指導員のチームによる訪問（3回/年）

＊専門指導員：中央研修及びハワイ大学研修修了者等の各中高教員 30名を任命

・第2回は、専門指導員等によるワークショップ型研修会の開催

・第3回は、授業公開（小中高担当者による参観）及び研究協議

・サポート校訪問への指導主事による訪問（1回/年）

<実践マネジメント校を活用した小中高連携の推進>

○中央研修及びハワイ大学研修修了者等（約150名）から、中高教員各15名を「専門指導員」として任命、指導主事とともに小学校（実践マネジメント校）へチーム支援

○小学校教員を対象としたスモールトークなどの研修講師、授業づくり支援としての活用

○「英語教員リーダー育成事業」（ハワイ大学研修）の後継事業として、異校種の教員（小中高）が垣根を越えて、授業参観や研究協議を通して、円滑な接続を図る本県独自のスタイル

(2) 茨城県児童生徒の英語力向上事業（R1～）

〔目的〕 英検 IBA を活用した2技能型アセスメントテストにより児童生徒の英語力の実態を客観的に把握し、それを踏まえた指導を行うことで、各学校での英語教育の一層の充実を図る。

〔対象〕 小学6年及び中学1年～3年の全児童生徒、高校は希望制

〔内容〕 ・小学校英語トライアル（小6）の実施

・英検 IBA（中1～中3、高校）の実施

(3) 有識者の講義及び指導事例の映像資料のWEB配信

(4) 県指導資料の作成とWEB配信（小学校外国語スタートアップガイド等）

【中学校】

1 中学生の英語発信力向上事業（R1～）

〔目的〕 中学生の英語発信力向上

〔対象〕 全公立中学校及び義務教育学校等の2年生 25,000人及び該当する市町村

〔内容〕 英語4技能アセスメントテストの実施と授業改善重点地域への訪問指導（3回/年）

2 小中学校における遠隔教育実証研究事業（R2～）

〔目的〕 質の高い教育を実現し、児童生徒の学力向上を図る

〔対象〕 県内5つの教育事務所管内の小中学校等

〔内容〕 少人数指導と遠隔教育を併せた実証研究（配信校からの受信校への遠隔授業）、高度な専門性をもつ専門人材の活用

3 国立教育政策研究所指定による中学校外国語科実践研究協力校（水戸・県南教育事務所）

(1) 水戸市立第一中学校（文部科学省教科調査官）

(2) つくば市立大穂中学校（文部科学省学力調査官）

【中・高等学校】

英語プレゼンテーションフォーラムの開催（中・高）（R2～）

〔目的〕 グローバルな視野をもち、他者と協働しながら課題を解決し、自分の意見を英語で発信することができる人財の育成

〔対象〕 県内中学生及び高校生

[内容] <中学生>グループでのプレゼンテーションのあとに、生徒同士のインタラクション
<高校生>プレゼンテーションのあとに、審査員からのQ&A

【高等学校】

1 英語4技能5領域を統合した授業実践発表研修 (R1～R3)

[目的] 教員の4技能5領域を統合した授業づくりに向けた英語指導力の向上

[対象] 県立学校教員等

[内容] スピーキングを中心にした統合的な指導方法の講義及び授業実践の発表等

2 ディベートジャッジ研修 (H23～)

[目的] ディベート大会において公平な審査を行うために必要な知識とスキルを身に付ける

[対象] 県内の各高等学校，中等教育学校で受講を希望する英語科教員及び外国語指導助手

[内容] ジャッジセミナー，試合解説等

3 英語教員英語力向上研修 (H30～)

[目的] 学習指導要領で求められている授業改善に資するための指導力向上

[対象] 英検準1級相当の英語力はあるが，国が求める外部試験の資格を有していない教員

[内容] 講義「これまでの英語教員，これからの英語教員-英語力から人間力へ」

4 ローズ杯高校生英語ディベート大会 (H23～)

[目的] 英語に実践的なコミュニケーション能力を高め，「国際社会で活躍できる人財」の育成

[対象] 県内高校生

[内容] 1チーム4人編成で実施する競技ディベート

5 国連グローバルセミナー (H25～)

[目的] 国際的な視野及び国際社会に貢献しようとする態度の育成及び国際社会に向けた生徒の主体的な進路選択を支援

[対象] 県立高校生 40名

[内容] 国連大学（東京）において，国際問題に関する講義の受講やプレゼンテーションの実施

6 短期留学者に対する経費支援 (H23～)

(1) 学校に対する支援金の交付（国委託）

(2) 個人に対する支援金の交付（県独自）

7 外国語指導助手招致事業 (S55～)

[目的] ネイティブと実践的な会話ができる機会を追加し，英語で思考・議論できる「グローバル人財」を育成

[対象] 全県立高等学校等

[内容] ○ディベートを活用した授業

○マンツーマン，少人数での英会話レッスン

○専門性をもつALTによる英語以外の教科・課題研究の授業

○クラスの副担任として学校行事等での交流等

(4) 年間事業計画

月	本県等の取組	対象者	外部専門機関等
		児童生徒，教員，指導主事，ALT	
4月	・県指導主事等研究協議会（第1回）	指導主事	
	・各市町村教育委員会外国語教育担当者研修会（第1回）	指導主事	
5月	・小学校英語教育支援事業合同研修会	教員（小中高），指導主事	文部科学省調査官
	・中学生の英語発信力向上事業説明会	指導主事	
6月	・専門指導員等による実践マネジメント校への訪問開始	教員（小）	
	・小学校英語教育支援事業（サポート校訪問）（～12月）	教員（小）	

	・知識や技能を「活用」する力を高める指導力向上研修講座（第1回）	教員（小中）	文部科学省調査官
7月	・英語プレゼンテーションフォーラム地区大会（5会場）	中学生	
	・教育課程連絡協議会（小・中学校外国語科）	教員（小中）	
8月	・英語プレゼンテーションフォーラム県大会	中高生	有識者，民間機関
	・英語4技能を活用した授業実践発表研修（第1回）	教員（高校）	大学教授等（元文部科学省調査官）
	・小・中学校の学びをつなぐ！English Seminar（第1回）	教員（小中）	
	・知識や技能を「活用」する力を高める指導力向上研修講座（第2回）	教員（小中）	文部科学省調査官
9月	・茨城県児童生徒の英語力向上事業（英検 IBA）（～12月）	児童（小6） 生徒（中1～3）	日本英語検定協会
	・中学生の英語発信力向上事業（～11月）	生徒（中2）	
	・ALT 連絡協議会	ALT	
	・高円宮杯全日本英語弁論大会茨城県大会	中学生	
10月	・県指導主事等研究協議会（第2回）	指導主事	
	・小学校英語教育支援事業実践マネジメント校授業公開（～12月）	教員（小中高）	
	・ディベートジャッジ研修	教員（高校）	
	・国連グローバルセミナー（～2月）	生徒（高校）	
	・小・中学校の学びをつなぐ！English Seminar（第2回）	教員（小中）	
11月	・ALT 指導力等向上事業研修	ALT, 教員（小中高）	大学教授等（元文部科学省調査官）
	・英語4技能を活用した授業実践発表研修（第2回）	教員（高校）	
	・英語教員英語力向上研修	教員（高校）	
	・知識や技能を「活用」する力を高める指導力向上研修講座（第3回）	教員（小中）	文部科学省調査官
	・ローズ杯高校生英語ディベート大会	生徒（高校）	
12月	・遠隔教育に係る実証研究校研究発表会（～1月）	教員（中学）	
1月	・市町村教育委員会外国語教育担当者研修会（第2回）	指導主事	大学教授等
	・国立教育政策研究所指定実践研究校公開授業	教員（中学）	
2月	・県指導主事等研究協議会（第3回）	指導主事	
3月	・研究成果報告書 WEB 配信		
	・県作成指導資料 WEB 配信		
【その他の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・＜研修センター＞英語教育推進リーダーの積極的活用（実践発表者・研究協力員等） ・次世代グローバルリーダー育成事業（H30～）※H30 及び H31 中高生各 40 名 			

都道府県等 教育委員会名	茨城県教育委員会
-----------------	----------

※表中、斜線部は記入不要。計画段階では目標値のみ記入。

校種	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022				
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値			
高等学校	①	求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	62	66	73.2	77	75		75		75				
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	36.2	41	41.1	44.7	49.6		54.4		59.2				
	③	学習到達目標の整備状況 設定(%) 公表(%) 達成状況の把握(%)	93.4	95	76	100	100		100		100				
			27.9	30	19	23.1	40		45		50				
			40.2	45	35.5	38.8	50		50		50				
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	39.4	40	37.5	38.8	45		47.5		50				
	⑤	パフォーマンステストの実施状況 ○スピーキングテスト(回)	コミュニケーション英語 I	159	160	150	223	180							
			コミュニケーション英語 II	116	120	154	199	140		145		150			
			コミュニケーション英語 III	45	50	50	65	60		65		70			
			英語表現 I	86	90	46	119	90							
			英語表現 II	30	30	26	55	40		45		50			
			○ライティングテスト(回)	コミュニケーション英語 I	55	60	132	139	70						
				コミュニケーション英語 II	69	70	107	119	80		85		90		
				コミュニケーション英語 III	15	20	71	109	30		35		40		
			英語表現 I	100	105	136	213	115							
			英語表現 II	88	90	129	210	100		105		110			
			新課程	○スピーキングテスト(回)	英語コミュニケーション I							190		200	
					英語コミュニケーション II										
	英語コミュニケーション III														
	論理・表現 I									95		100			
論理・表現 II															
論理・表現 III															
○ライティングテスト(回)	英語コミュニケーション I							75		80					
	英語コミュニケーション II														
	英語コミュニケーション III														
	論理・表現 I							120		125					
	論理・表現 II														
	論理・表現 III														
⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	42	41.7	44	37	46		48		50					
⑧	英語担当教員に対する研修実施回数	30	30	30	30	30		30		30					
	研修受講者数	530	530	530	530	530		530		530					

校種	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022		
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
中学校	①	求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	55	28.8	57	28.8	60		60		60		
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	48.6	41.5	54	48.3	57.2		60.4		63.6		
	③	学習到達目標の整備状況 設定(%) 公表(%) 達成状況の把握(%)	100	97	100	96	100		100		100		
			60	18	70	15.8	80		90		100		
			60	55	70	46.6	80		90		100		
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	90	78	95	83.1	100		100		100		
	⑤	パフォーマンステストの実施状況	スピーキングテスト(回)	6	5	6	6	6		6		6	
			ライティングテスト(回)	5	4	5	4	5		5		5	
⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	85	90	95	87	98		99		100			
⑧	英語担当教員に対する研修実施回数	60	64	40	24	30		30		30			
	研修受講者数	800	1009	800	490	400		400		400			

校種	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	①	学習到達目標の整備状況 設定(%) 公表(%) 達成状況の把握(%)					30		50		80	
							20		30		40	
							30		40		50	
②	小学校教員に対する研修実施回数	60	77	60	93	60		40		40		
③	研修受講者数	2000	2805	2000	1900	1500		500		500		

独自	No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校		英語教育に関する小中連携の実施状況(%)	85	86	90	84	95		100		100	

※第3期教育振興基本計画に基づき、2022年度までの目標管理としている。なお、小学校専科指導に係る新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合については、平成30年12月27日付け「質の高い小学校英語教育を推進するための小学校英語専科指導に係る加配定数の取扱について」を受けて、2025年度まで記入欄を設けている。